

# ピコレーザーによるタトゥー除去治療に関する説明・同意書

---

## ◆ピコレーザーについて

ピコ秒レーザーとは、非常に強いレーザー光をピコ秒（1 ピコ秒＝1 兆分の 1 秒）という短い時間で照射する機械です。非常に強いエネルギーを皮膚の深くまで届けることができ、また照射時間が非常に短いためターゲット（刺青色素）の周囲に熱ダメージを与えにくいという特徴があります。衝撃波による直接的な作用により、結果的に少ない治療回数で済むこと、副作用を軽度抑えることが期待されます。タトゥー（刺青）は真皮内に色素が着色している状態であり、ピコ秒レーザーを照射することで色素を選択的に破壊し治療することができます。

## ◆治療が受けられない方

- ・ 532nm・1064nm の波長域の光に過敏な方、又は光線過敏症のある方
- ・ ケロイド、瘢痕体質の方
- ・ 糖尿病などの内分泌疾患に罹患しており、創傷治癒に障害がある方
- ・ 免疫抑制を引き起こす疾患、免疫抑制剤使用中
- ・ 出血性疾患に罹患、抗凝固薬を内服中
- ・ 妊娠中、授乳中またその可能性がある
- ・ 発熱している・全身状態が芳しくない
- ・ 光過敏性発作・光線過敏症に関連した疾患に罹患・既往
- ・ 光過敏症を誘発する薬剤・外用薬・サプリメントを使用中

## ◆治療できない部位

- ・ 感染性の皮膚疾患又は、切開創・開放創・炎症・化膿がある部位
- ・ 悪性腫瘍直上・単純ヘルペス 1 型、2 型の活動病変上
- ・ 1 カ月以内の強い日焼け部位

## ◆麻酔について

- ・ 照射時に痛みを伴いますので、照射範囲によって表面麻酔を行います。
- ・ 麻酔の効果の程度により、痛みを感じる場合があります。

## ◆治療前注意事項

- ・ 日焼けをした状態では熱傷を生じるリスクが高くなるため、照射をすることができません。日焼けをしないよう SPF30 以上の日焼け止めの使用や、長袖・長ズボン等の着用で日焼け予防してください。

※日焼けしてしまった場合には、日焼けが落ち着いてからの照射となります。

- ・ 照射部位は前日、もしくは当日に剃毛して来院してください。
- ・ 照射部位に日焼け止めや化粧品（クリーム、化粧水含む）が残っていると、レーザーが成分に反応し熱傷を起こす可能性があります。照射前には必ず落としてください。
- ・ サンオイルを使用している場合は、1～2 週間前より使用を控えてください。
- ・ 時計・アクセサリ等の貴金属類は事前に外して頂きます。

## ◆治療中注意事項

- ・レーザー光から目を保護する為にゴーグルを着用します。照射中は外さないでください。  
目を閉じた状態でも眩しく感じることもありますが、目に影響はありません。
- ・痛みが我慢できない、ヒリヒリするなどの症状がある場合はお知らせください。

## ◆治療後注意事項

- ・照射部位が腫れや赤みが残ることがありますが、一過性の症状であり 1 週間程度で軽快します。  
1 週間以上経過しても軽快しない場合は早めにご連絡ください。
- ・照射直後は疼痛が強いので、アイスパック等でクーリングを行います。
- ・ガーゼ/ドレッシング剤保護+軟膏処置を行います。 ※治療当日は浸出液が出る事が多い為
- ・治療部位は掻いたりしないでください。皮膚を傷つけることで色素沈着になる可能性があります。
- ・当日は入浴をせず、シャワー浴のみとしてください。
- ・赤み・腫れ・痒みが強い場合は来院してください。
- ・治療期間中の日焼けは避けて下さい。日焼け予防対策を日常的に行ってください。
- ・照射後は指示に従い、ホームケアを行って下さい。

## ◆合併症について

- 【色素沈着】 擦れやすい・日焼けしやすい箇所は色素沈着のリスクが高くなります。
- 【色素脱失】 色調が濃い場合は熱損傷や頻回の治療を行う事により発生します。
- 【瘢痕】 元の体質や、出力・短期間の照射間隔にてリスクが増大します。
- 【その他合併症】 痂皮形成、水泡形成、紫斑、紅斑、浮腫、掻痒感、炎症等

治療には副作用が発症する可能性があることをご理解いただいた上で治療をお受けください。  
経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただくことがございます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

## ピコレーザーによるタトゥー除去治療に関する同意書

みらい内科クリニック 院長殿

私は、上記のピコレーザー治療の作用、副作用および安全性について十分に理解し、  
ピコレーザー治療を受けること、写真撮影に同意します。

年 月 日

氏名 \_\_\_\_\_